

令和5年度全国学力・学習状況調査
－相模原市の結果概要－

小学校6年生・義務教育学校6年生及び中学校3年生・義務教育学校9年生を対象に、令和5年4月18日（火）に実施された全国学力・学習状況調査について、本市の結果概要をお知らせします。

今年度は、教科に関する調査と児童生徒や学校に対する質問紙調査が行われました。

【調査の対象と教科に関する調査】

- 小学校6年生及び義務教育学校6年生 … 国語、算数
- 中学校3年生及び義務教育学校9年生 … 国語、数学、英語

※ 英語「話すこと」調査の結果については、後日公表となります。

【教科に関する調査の平均正答数と平均正答率】

令和5年度	公立小学校・義務教育学校前期課程				公立中学校・義務教育学校後期課程					
	国語		算数		国語		数学		英語	
	14問		16問		15問		15問		17問	
	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率
	(問)	(%)	(問)	(%)	(問)	(%)	(問)	(%)	(問)	(%)
相模原市	9.2	65	9.9	62	10.4	69	7.5	50	8.4	49
神奈川県	9.3	66	10.1	63	10.4	70	7.8	52	8.6	50
全国	9.4	67.2	10.0	62.5	10.5	69.8	7.6	51.0	7.7	45.6
相模原市－全国	-0.2	-2.2	-0.1	-0.5	-0.1	-0.8	-0.1	-1.0	+0.7	+3.4

※ 英語については、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の調査結果となります。

※ 本市及び神奈川県の平均正答率は整数値で示しています。

【本市の結果について】

全国と本市の平均正答数、平均正答率を比較すると、小学校・義務教育学校前期課程において全国をやや下回るものの、同程度となっております。また、中学校・義務教育学校後期課程においては、英語で全国を上回る結果となりました。

本調査の詳細な結果については、教育委員会で分析した後、市ホームページで公表するとともに、この調査結果を指導の改善・充実に生かし、児童生徒の学力の向上に資する取組を引き続き充実させてまいります。

学力の向上に関する取組

- ・ 分析資料の作成、学校への提供
- ・ 授業づくりに関する研修の実施
- ・ 指導や支援を充実させるための人的配置
- ・ 基本的な生活習慣の確立や家庭学習習慣の定着に向けた出前講座の実施
- ・ 学校ごとの結果分析及びそれに基づく指導改善

お問合せ先
相模原市教育委員会
学校教育課
042-704-8918

詳細資料は国立教育政策研究所Webページをご覧ください。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

1 調査結果の概要

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
相模原市教育委員会	5,261	9.2 / 14	65	10.0	3.1
神奈川県(公立)	68,738	9.3 / 14	66	10.0	3.1
全国(公立)	964,177	9.4 / 14	67.2	10.0	2.9

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)			
			相模原市	神奈川県 (公立)	全国 (公立)	
全体		14	65	66	67.2	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	68.7	70.1	71.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	63.5	64.3	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	69.9	70.4	72.6
		B 書くこと	1	25.6	25.6	26.7
C 読むこと		3	70.2	70.4	71.2	
評価の観点	知識・技能	7	67.2	68.5	68.9	
	思考・判断・表現	7	63.7	64.0	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	72.9	73.4	73.6	
	短答式	2	59.2	61.2	62.7	
	記述式	3	47.4	48.2	51.1	

【調査結果からわかる本市の状況】 ○比較的できている点 ●課題のある点

○ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約したものを選択することはできている。

〔2ー〕

● 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。〔1二〕

2 成果と課題

(1) 比較的できていた問題

○趣旨

目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。

○問題

2 ー

相田さんが選んだ【資料1】と【資料2】に書かれている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- ① 運動の効果や種類
- 2 運動の回数や場所
- 3 運動の場所や種類
- 4 運動の効果や回数

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくろう！

運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがりフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといいの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例



軽いジョギング



縄とび(跳けてとぶ)

主に筋力を高める運動の例



腹筋運動



腕立てふせ

正答率:90.4%
(全国:90.0%)

【資料1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで速度に運動をすることが大切だと言われています。私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋力や筋力を高める運動などです。生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

② 相田さんの学級では「健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめること」にしました。次は、「相田さんの考え」と「相田さんが知りたいことを調べるために選んだ【資料1】」「【資料2】」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【相田さんの考え】

ぼくは、運動の面から考えてみたいな。運動をするって健康にどんないいことがあるのかな。



相田さん

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

○問題 1 二

川村さんは、選んだカードをもとに、次の【川村さんの文章】の [] に学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、 [] に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【川村さんの文章】

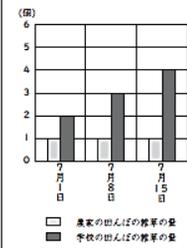
学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼにええを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。ウきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量



10回あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

【カード①】

6月24日
・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
・そのまま雑草が増えたら米のしょうかくにえいさようするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日
・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。
・どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
・調査きかん 7月1日～15日

【カード③】

7月19日
・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが足りていないと考えられる。
・雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日
【農家の石山さんのお話】
・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日
【学校でできる解決方法】
・雑草取りの回数を増やす。
・雑草取りの人数を増やす。

「川村さんの考え」

<条件>

○学校の米作りの問題点については、【川村さんの文章】のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。

○問題点の解決方法については、【カード⑤】をもとにして書くこと。

○六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【正答例】

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしょうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字)



【学習のポイント】

伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフなどを用いるとよいかを考えるようにしましょう。また、推敲(すいこう)する際は、図表やグラフなどの用い方は適切か、文章で説明を加えた方が分かりやすい部分はないかなどの観点で見直していくことが大切です。

○趣旨

漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

○問題 1 三(1)(2)

(1) _____部ア、ウを漢字でていねいに書きましょう。

雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えて

きて、とてもこまりました。

【正答】意外

正答率:51.0%
(全国:52.8%)

(2) _____部イを書き直したものと適切なるものを、次の1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。

ウきかんは7月1日から15日までです。

【正答】期間

正答率:67.4%
(全国:72.6%)

1 比らべて

2 比べて

3 比て

正答率:92.0%
(全国:93.1%)

【学習のポイント】

日頃から、漢字を文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けるとともに、各学年で学習する漢字を文や文章の中で積極的に使うようにしましょう。

1 調査結果の概要

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
相模原市教育委員会	5,260	9.9 / 16	62	10.0	3.9
神奈川県(公立)	68,739	10.1 / 16	63	11.0	3.9
全国(公立)	964,350	10.0 / 16	62.5	11.0	3.8

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			相模原市	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
	全体	18	62	63	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	65.9	67.1	67.3
	B 図形	4	48.4	50.0	48.2
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	70.5	72.3	70.9
	D データの活用	3	64.5	65.2	65.5
評価の観点	知識・技能	9	66.0	67.8	67.2
	思考・判断・表現	7	56.3	57.2	56.5
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	58.8	59.2	57.7
	短答式	7	73.7	74.8	74.7
	記述式	4	47.3	47.8	47.3

【調査結果からわかる本市の状況】 ○比較的できている点 ●課題のある点

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることはできている。〔1(1)〕
- 正方形の意味や性質について理解することはできている。〔2(2)〕
- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを記述することに課題がある。〔1(3)〕
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を記述することに課題がある。〔2(4)〕

2 成果と課題

(1) 比較的できていた問題

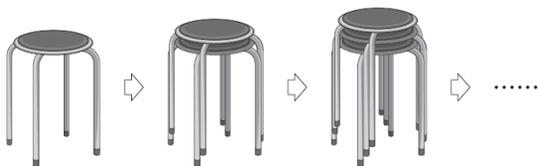
○趣旨

伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる。

○問題

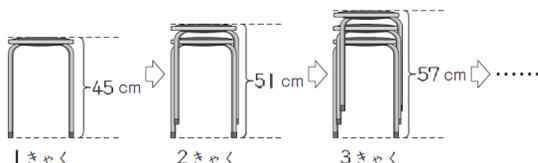
1 同じいすがたくさんあります。

(1) はるまさんたちは、いすをかたづけるために、下のように重ねています。



1 きゃくのいすの高さは、45 cm です。

下のようにいすを重ねていくと、高さが変わります。



正答率:92.9%
(全国:93.5%)

いすの数と高さの関係を、下の表にまとめます。

いすの数 (きゃく)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A

表の中の A にあてはまる数を書きましょう。

【正答】

69

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

○問題

1

- (3) いす4きゃくの重さをはかると、7 kg でした。
このいす48きゃくの重さは、何kgですか。
求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、
答えも書きましょう。



正答率:53.8%
(全国:55.5%)

【正答例】

いすの数は、 $48 \div 4 = 12$ で、12倍になります。
いすの数が12倍になると重さも12倍になるので、
48きゃくのときの重さは、 $7 \times 12 = 84$ で、84kg
です。

【学習のポイント】

いすの数が2倍、3倍、...となれば、重さも2倍、3倍、...となることから、「いすの数」と「重さ」は比例の関係にあることを捉えられるようにすることが大切です。その上で、いすの数が12倍になれば、重さも12倍になることを見だし、 $7 \times 12 = 84$ 答え 84kg と説明できるようにしましょう。

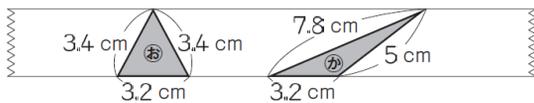
○趣旨

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

○問題

2

- (4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。
下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

正答率:25.0%
(全国: 20.8%)

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

【正答例】

三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。「お」と「か」の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。「お」と「か」の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、「お」と「か」の面積は等しいです。

【学習のポイント】

「お」と「か」の二つの三角形について、3.2cmの辺を底辺とみたときに、どの部分の長さが「高さ」にあたるのかを理解できるようにすることが大切です。その上で、テープの幅が等しいことから二つの三角形の高さが等しいことを見だし、底辺も高さも等しい2つの三角形の面積は等しいことを理解できるようにしましょう。

1 調査結果の概要

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
相模原市教育委員会	4,957	10.4 / 15	69	11.0	3.3
神奈川県(公立)	60,261	10.4 / 15	70	11.0	3.4
全国(公立)	892,738	10.5 / 15	69.8	11.0	3.4

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)			
			相模原市	神奈川県 (公立)	全国 (公立)	
	全体	15	69	70	69.8	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	64.8	66.3	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	62.5	63.7	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	72.0	71.7	74.7
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	82.9	82.5	82.2
		B 書くこと	2	64.1	64.6	63.2
		C 読むこと	4	64.9	64.2	63.7
評価の観点	知識・技能	7	67.2	67.9	69.4	
	思考・判断・表現	9	70.7	70.4	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	7	73.8	73.9	73.1	
	短答式	4	62.2	63.3	65.6	
	記述式	4	68.8	68.1	68.0	

【調査結果からわかる本市の状況】 ○比較的できている点 ●課題のある点

○文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することについてはできている。〔2〕三

●情報と情報との関係について理解することに課題がある。〔1〕二

2 成果と課題

(1) 比較的できていた問題

○趣旨

文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる。

○問題 〔2〕三

正答率:76.6%
(全国:74.2%)

【A】(岸見一郎『本をどう読むか』による。)

【B】(小林秀雄「読書について」による。)

中山さんは、【A】と【B】の文章で述べられていることを次のようにまとめました。次の と に入る言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

読書の楽しみについて、【A】では ということが、【B】では ということが述べられている。

- 1 同じテーマの本を何冊も読むことで、ものの見方を広げる
- 2 一人の作家の代表作を選んで読むことで、その作家の特徴をつかむ
- 3 同じ本を再度読むことで、以前と違う自分に気付く
- 4 一人の作家の全集を隅まで読むことで、その作家の性格や個性を知る

【正答】

ア ⇒ 3
イ ⇒ 4

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

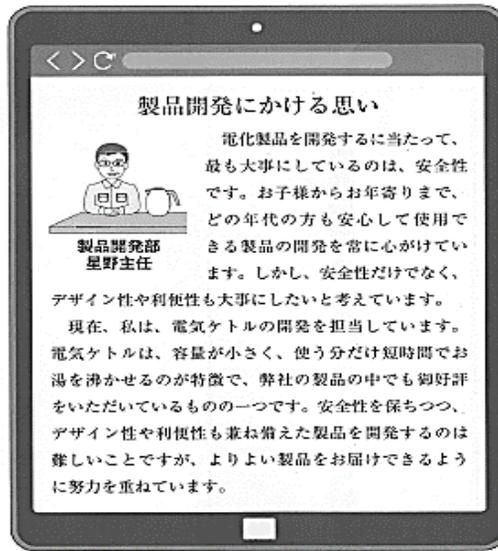
意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。

○問題 1 二

南さんが【インタビューの前に準備したメモ】に
線部①『安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい』と考えるのはどうしてか。」と書いたのは、【インターネットの記事】のどのような点に気付いたからだと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 事例は示されているが、星野さんとの考えとは内容が矛盾している点。
- 2 事例は示されているが、星野さんの考えが書かれていない点。
- 3 星野さんの考えは示されているが、その理由が書かれていない点。
- 4 星野さんの考えと理由は示されているが、理由として不十分である点。

正答率:63.7%
(全国:65.1%)



〈インタビューの目的〉

星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。

〈インタビューを通して知りたいこと〉

- ・「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。
- ・「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
- ・社会で働く上で何が大切だと思うか。

【インターネットの記事】

1 南さんは、総合的な学習の時間に、「社会で働く上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。インターネットで情報を集めていた南さんは、電化製品を開発している星野さんの記事に興味をもち、会社を訪問して星野さんにインタビューをしました。次の【インターネットの記事】、「インタビューの前に準備したメモ」、「インタビューの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インタビューの前に準備したメモ】

【学習のポイント】

相手の意見を理解したり自分の意見を述べたりするためには、原因と結果、意見と根拠など、話や文章の中に含まれている情報と情報との関係について理解することが重要です。学習する際には、考えとともに考えの拠り所となる事例が示されているかを確認するなど、話や文章の中に示されている考えと、それを支える根拠との関係を明らかにすることができるようにしましょう。

○趣旨

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。

○問題 4 一

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

<原文>

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。その竹の中に～(省略)

<原文>の 線部「いひける」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

正答率:76.4%
(全国:82.5%)

【正答】
「いひける」

【学習のポイント】

歴史的仮名遣いで書かれている言葉をどのように読むのかを確認し、その規則性について整理しながら確認するなど、文語のきまりを文章の具体的な表現と結び付けて理解できるようにしましょう。

1 調査結果の概要

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
相模原市教育委員会	4,959	7.5 / 15	50	8.0	3.8
神奈川県(公立)	60,302	7.8 / 15	52	8.0	3.9
全国(公立)	893,114	7.6 / 15	51.0	8.0	3.9

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			相模原市	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
	全体	15	50	52	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	63.3	65.2	63.0
	B 図形	3	33.5	36.1	33.2
	C 関数	4	50.9	51.7	51.2
	D データの活用	3	44.0	47.4	48.5
評価の観点	知識・技能	10	54.3	56.6	55.7
	思考・判断・表現	5	42.0	43.4	41.6
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	44.1	46.7	45.3
	短答式	6	61.0	63.3	62.6
	記述式	5	42.0	43.4	41.6

【調査結果からわかる本市の状況】 ○比較的できている点 ●課題のある点

- 数と整式の乗法の計算をすることはできている。〔2〕
- 問題場面における考察の対象を明確に捉えることはできている。〔6(1)〕
- 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることの理解に課題がある。〔3〕
- 累積度数の意味の理解に課題がある。〔5〕
- 四分位範囲の意味の理解に課題がある。〔7(1)〕

2 成果と課題

(1) 比較的できていた問題

○趣旨

文字を使って数や図形の性質を説明したり、方程式を解いたりする場面において必要となる、次のことができるかどうかをみる。

- ・数・式などを活用して、数学的に処理すること
- ・数と整式の乗法の計算をすること

○問題

〔2〕 $12\left(\frac{x}{4} + \frac{y}{6}\right)$ を計算しなさい。

正答率:82.6%
(全国:80.5%)

【正答】 $3x + 2y$

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる。

○問題

3 空間における平面が1つに決まる場合について正しく述べたものを、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

- ア 1点をふくむ平面は1つに決まる。
- イ 2点をふくむ平面は1つに決まる。
- ウ 1つの直線上にある3点をふくむ平面は1つに決まる。
- エ 1つの直線上にない3点をふくむ平面は1つに決まる。

正答率:29.4%
(全国:30.4%)

【学習のポイント】

具体物の操作などを通じて、空間における平面が1つに決まる条件について確認しましょう。「同一直線上にある3点を含む平面は複数あり、1つに決まらない」ことを、イメージをもって理解できるようにすることが大切です。

○趣旨

四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる。

○問題

7 (1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

正答率:57.9%
(全国:65.7%)

各年の黄葉日

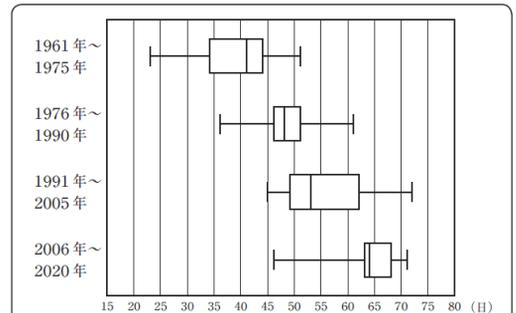
年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

【正答】 10

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

黄葉日までの経過日数の分布



	経過日数(日)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

【学習のポイント】

「四分位範囲」は第3四分位数と第1四分位数の差であり、「値」であることを確認しましょう。また、「四分位範囲」が全てのデータのうち、中央値を中心とする約半数のデータの散らばりの度合いを表す値であることを理解し、データの分布の傾向を捉える際の指標として活用できるようにしましょう。

1 調査結果の概要

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
相模原市教育委員会	4,959	8.4 / 17	49	8.0	4.2
神奈川県(公立)	60,318	8.6 / 17	50	8.0	4.3
全国(公立)	893,528	7.7 / 17	45.6	7.0	4.2

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			相模原市	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
	全体	17	49	50	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	8	62.5	62.5	58.4
	(2) 読むこと	6	54.3	55.7	51.2
	(3) 話すこと [やり取り]	0			
	(4) 話すこと [発表]	0			
	(5) 書くこと	5	27.1	29.5	23.4
評価の観点	知識・技能	9	55.3	56.8	51.5
	思考・判断・表現	8	42.3	43.4	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	12	58.4	59.1	54.8
	短答式	3	35.0	37.9	30.1
	記述式	2	15.2	16.9	13.5

【調査結果からわかる本市の状況】 ○比較的できている点 ●課題のある点

- ある情報について話し手が変わることがなければ、情報を正確に聞き取ることができている。〔1(1)〕
- 事実と考えを区別して読むことはできている。〔5(2)〕
- 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることには課題がある。〔6〕
- まとまりのある文章を書くことについては課題がある。〔10〕

2 成果と課題

(1) よくできていた問題

○趣旨

情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる。

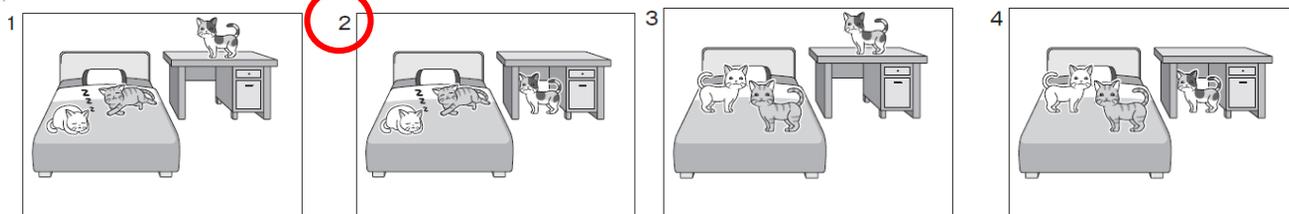
○問題

正答率:82.6%
(全国:79.0%)

1 (放送問題)

話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

(1)



【スクリプト】 Look at this picture. There are three cats. You can see a cat under the desk. And the other cats are on the bed. They are sleeping.

(2) 課題の見られた問題と学習のポイント

○趣旨

日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。

正答率:39.4%
(全国:35.9%)

○問題

6 次の英文は、友達のアイビッド (David) があなたに送ったメールです。メールを読んで、アイビッドにおすすめのイベントとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

Events on the Weekend	
Date	April 13, 2023 18:45
From	David
Hello. How are you? I'm excited to stay at your house this weekend.	
I hear your town has some events on the weekend. I want to join one of them with you. Which event is the best? We both love sports, music, and cooking, right? Let's choose from among them.	
I will arrive on Saturday afternoon. I have to leave before 4 p.m. on Sunday because I will have dinner with my family.	
I'm looking forward to seeing you soon.	

1 Rugby Game



Let's watch together!

Date & Time

Saturday, April 15
9:30 a.m. - 11:30 a.m.

Place

Midori Park

2 Flower Market



You can buy beautiful flowers!

Date & Time

Saturday, April 15
9:00 a.m. - 4:00 p.m.

Place

Hikari Garden

3 City Orchestra



You can enjoy a wonderful performance!

Date & Time

Sunday, April 16
1:00 p.m. - 3:00 p.m.

Place

Tsubomi Hall

4 "Cook & Eat"



Let's enjoy cooking and eating!

Date & Time

Sunday, April 16
4:00 p.m. - 7:00 p.m.

Place

Cooking Room "Wakaba"

【学習のポイント】

書かれていること全てを一語ずつ読み取ろうとするのではなく、何が必要な情報であるのか判断しながら、読み手として目的に応じて知りたいことや欲しい情報を読み取ることが大切です。

○趣旨

日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。

○問題

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開発しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 (, や ? など) は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】

正答率:7.8%
(全国:7.4%)

【正答例】

• Our school has a school festival in October. In the festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize. Many people come to listen to our songs.

【33 words】

【学習のポイント】

出来事や事実を描写したり、考えや感想を述べたりする場合において、よりよく読み手に伝わるように文章構成を意識しながら、全体として一貫性のある文章を書くことが大切です。

児童生徒質問紙に関する調査結果

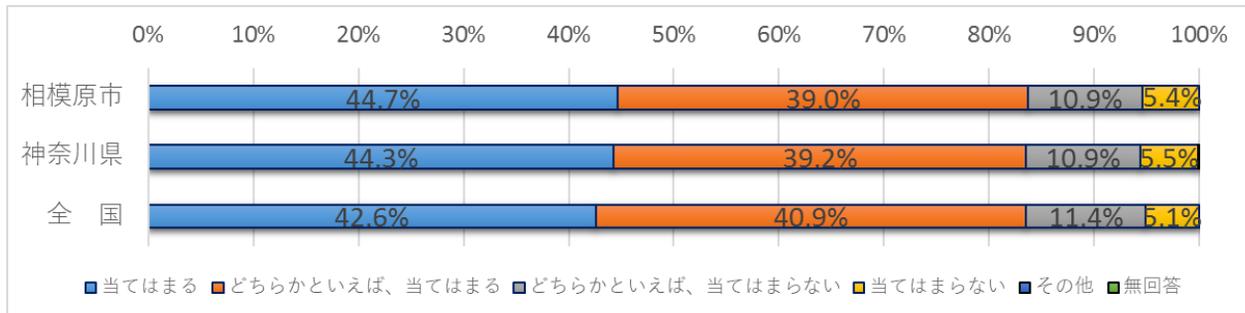
キャリア教育に関すること

① 自己肯定感

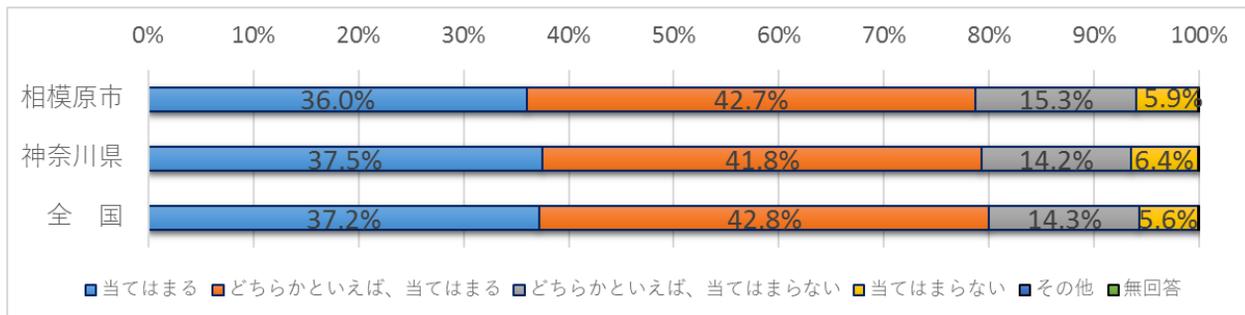
【質問】

自分には、よいところがあると思いますか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 83.7% (全国との差: +0.2%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 78.7% (全国との差: -1.3%)



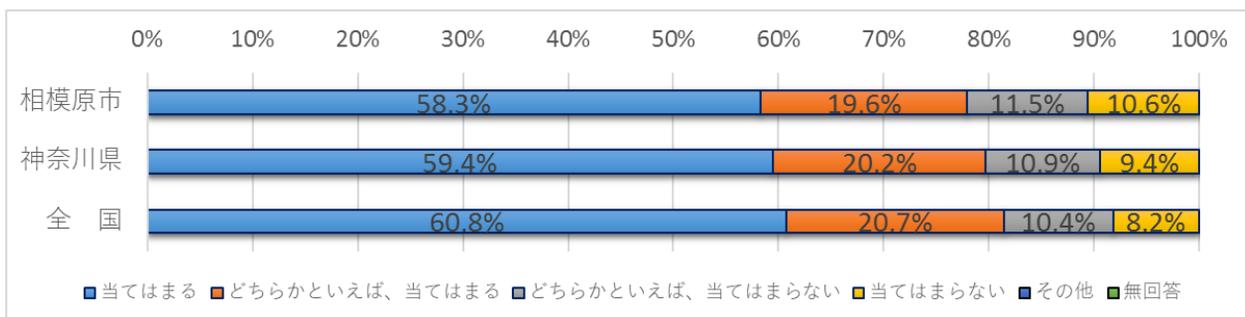
キャリア教育に関すること

② 将来の夢や目標

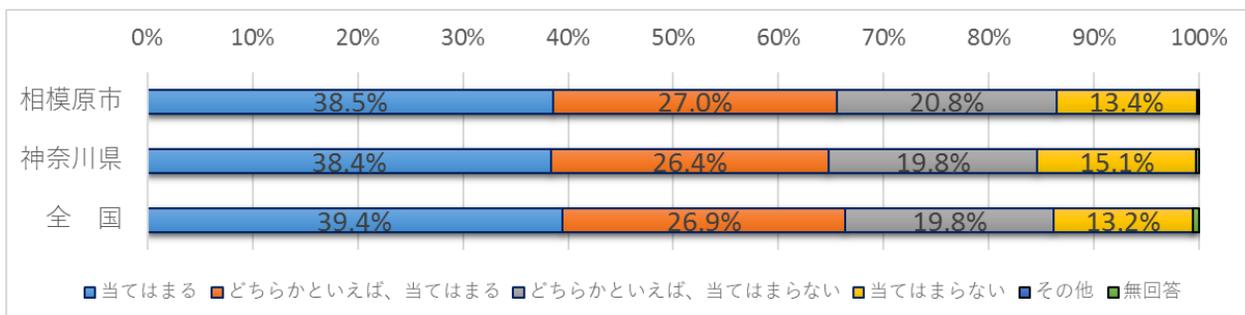
【質問】

将来の夢や目標を持っていますか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 77.9% (全国との差: -3.6%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 65.5% (全国との差: -0.8%)



「自分には、よいところがありますか」に肯定的に回答した児童の割合は83.7%、生徒の割合は78.7%となっています。また、「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定的に回答した児童の割合は77.9%、生徒の割合は65.5%で、全国と同程度となっています。

児童生徒質問紙に関する調査結果

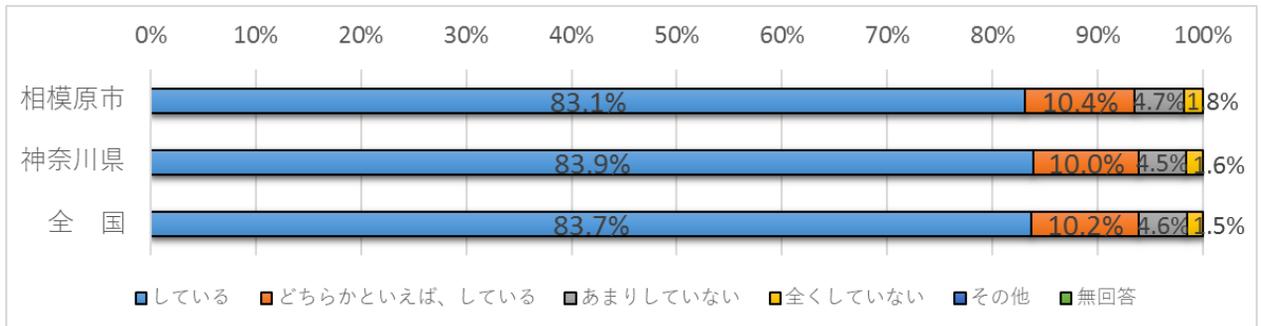
基本的な生活習慣に関すること

① 朝食を食べる習慣

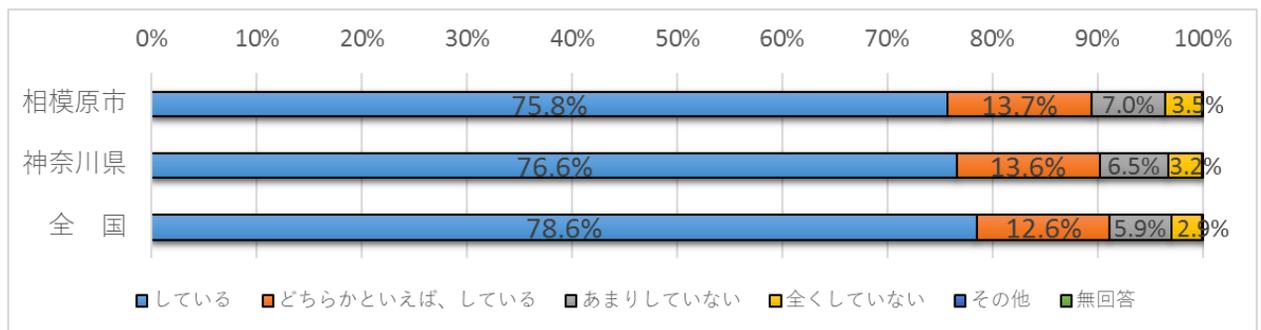
【質問】

朝食を毎日食べていますか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 93.5% (全国との差: -0.4%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 89.5% (全国との差: -1.7%)



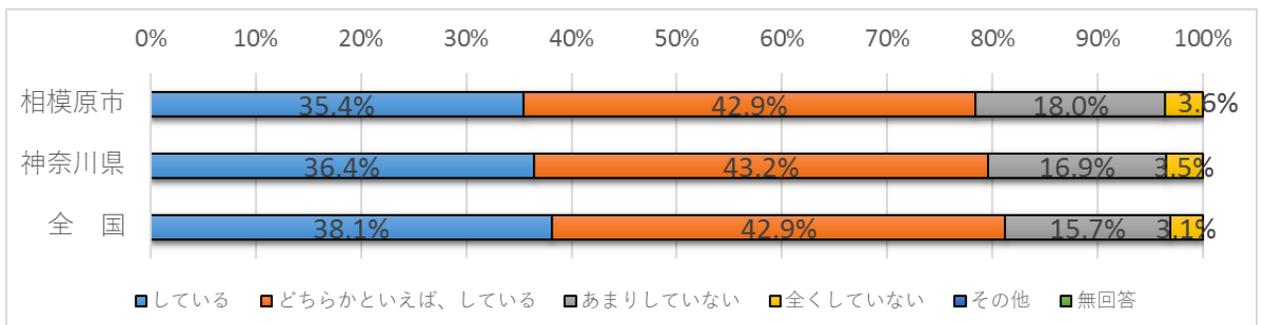
基本的な生活習慣に関すること

② 就寝時刻

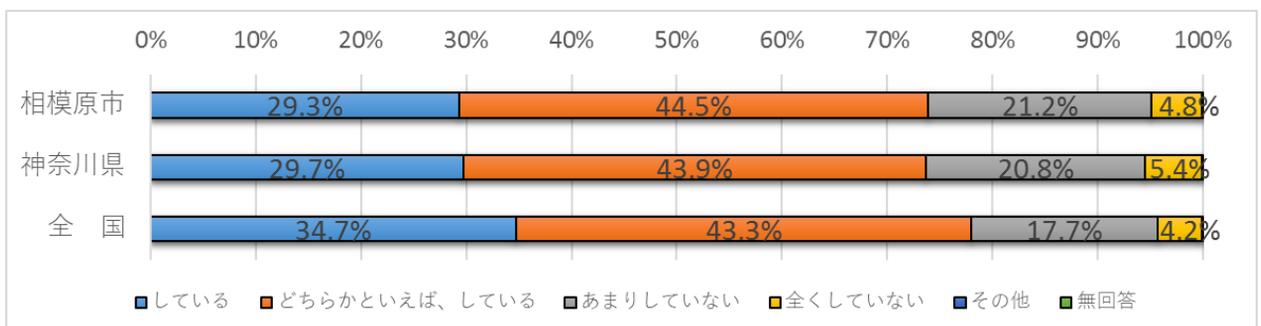
【質問】

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 78.3% (全国との差: -2.7%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 73.8% (全国との差: -4.2%)

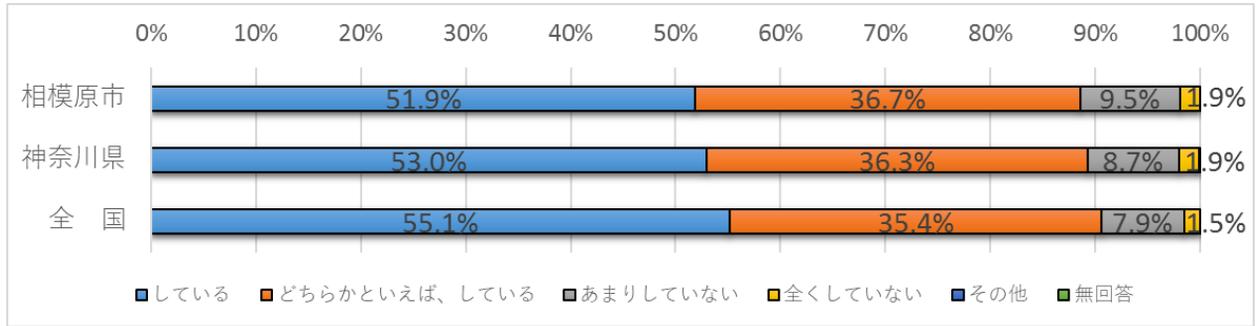


児童生徒質問紙に関する調査結果

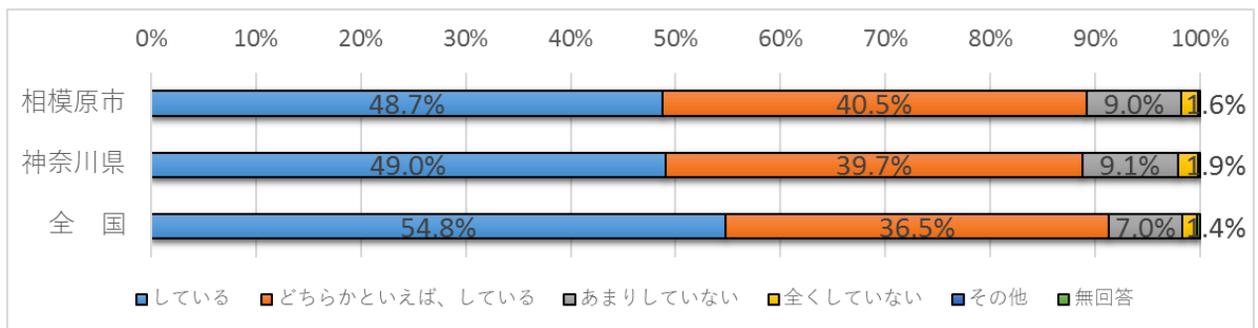
基本的な生活習慣に関すること ③ 起床時刻

【質問】
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 88.6% (全国との差: -1.9%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 89.2% (全国との差: -2.1%)



「朝食を毎日食べていますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合は90%程度となっています。また、「毎日、同じくらいの時間に起きていますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合が90%程度となっているのに対し、「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合は75%程度となっています。

規則正しい生活をする事は、心身の健康や成長につながります。睡眠時間を確保するなど、規則正しい生活習慣を身に付けましょう。

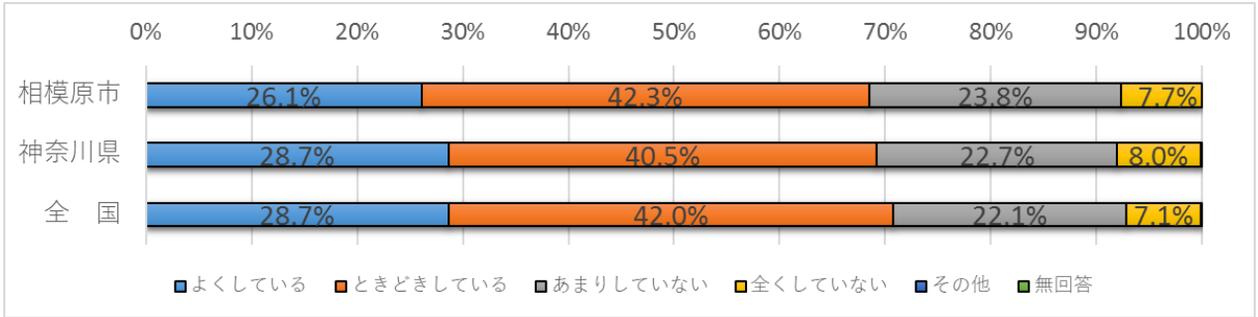
児童生徒質問紙に関する調査結果

学習習慣に関すること ① 学習計画・実行

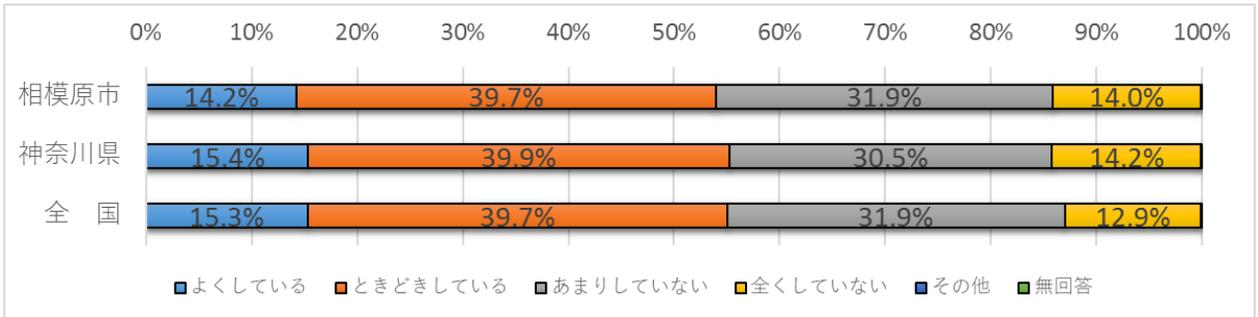
【質問】

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 68.4% (全国との差: -2.3%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 53.9% (全国との差: -1.1%)

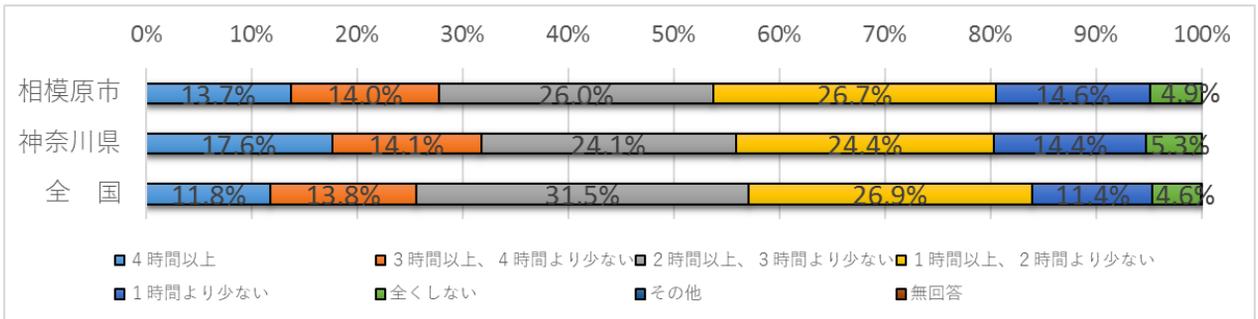


学習習慣に関すること ② 1日当たりの学習時間

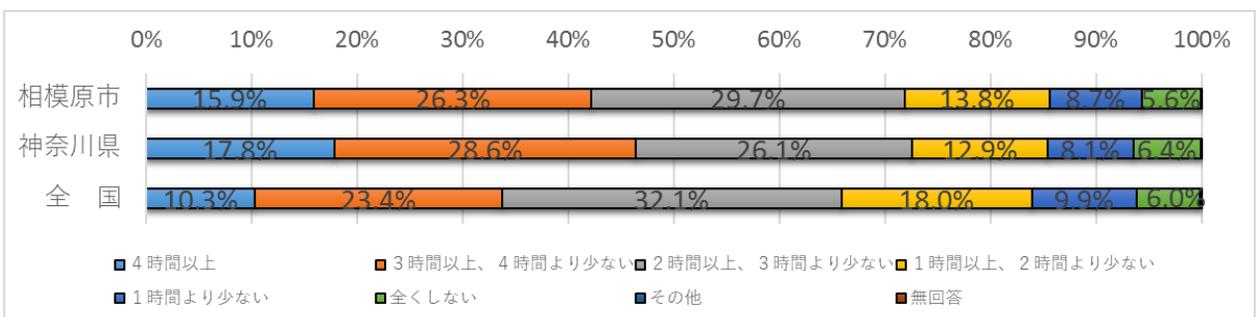
【質問】

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

〈児童〉 2時間以上と回答した児童の割合 53.7% (全国との差: -3.4%)



〈生徒〉 2時間以上と回答した生徒の割合 71.9% (全国との差: +6.1%)



「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国と同程度となっています。また、「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」に、「2時間以上」と回答した生徒の割合は、全国と比較して6.1%高くなっています。

児童生徒質問紙に関する調査結果

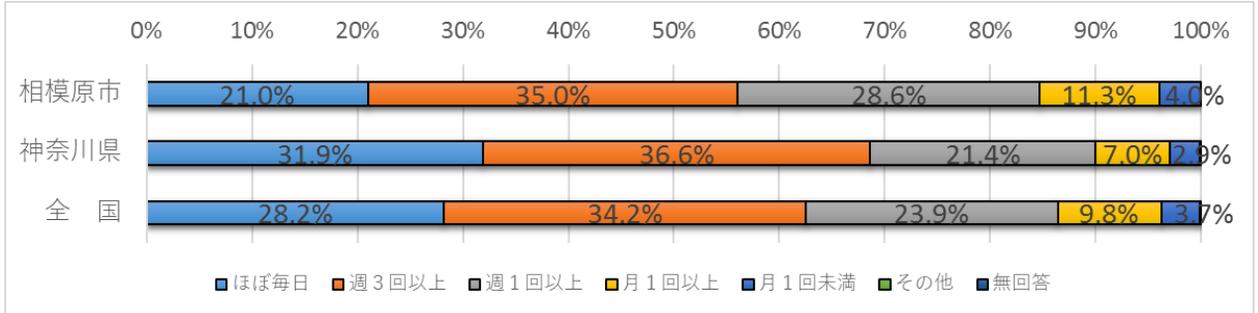
ICT機器の活用に関すること

① ICT機器の活用状況

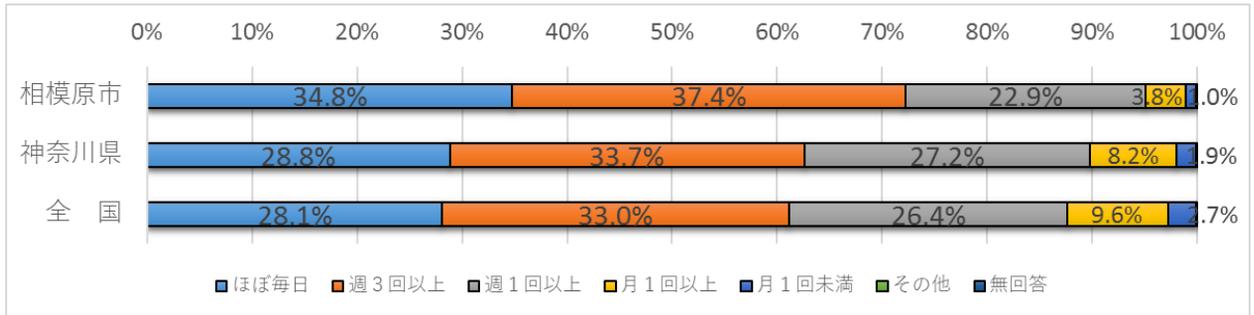
【質問】

これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

〈児童〉 週3回以上と回答した児童の割合 56.0% (全国との差:-6.4%)



〈生徒〉 週3回以上と回答した生徒の割合 72.2% (全国との差:+11.1%)



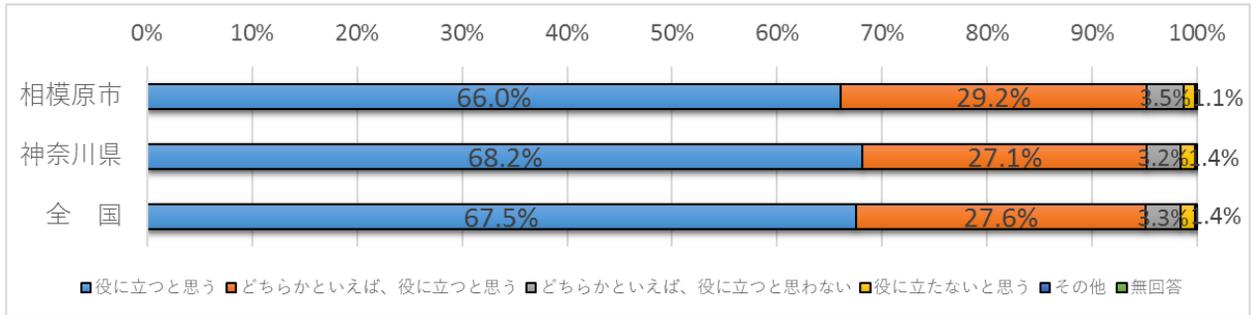
ICT機器の活用に関すること

② ICT機器活用の有用性

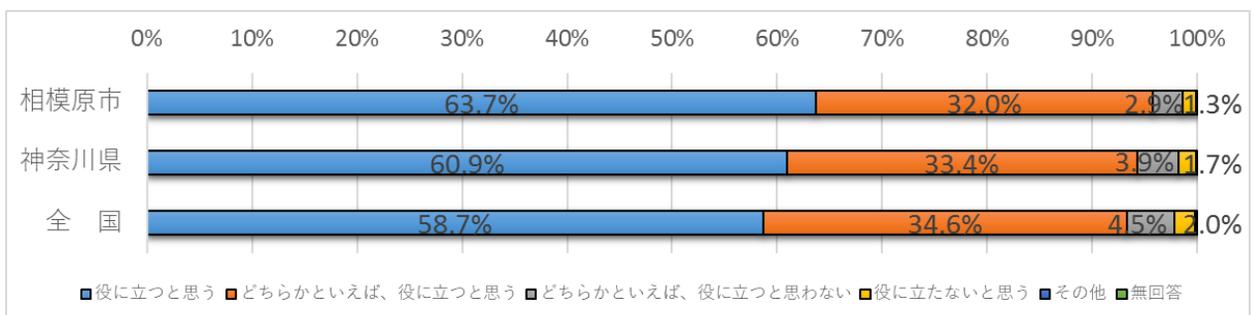
【質問】

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 95.2% (全国との差:+0.1%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 95.7% (全国との差:+2.4%)



PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用していると回答した生徒の割合は72.2%で、全国よりも11.1%高くなっています。また、ICT機器を使うのは勉強の役に立つと考える児童生徒の割合は95%程度と高い値を示しており、ICT活用の有用性を感じていることがわかりました。

児童生徒質問紙に関する調査結果

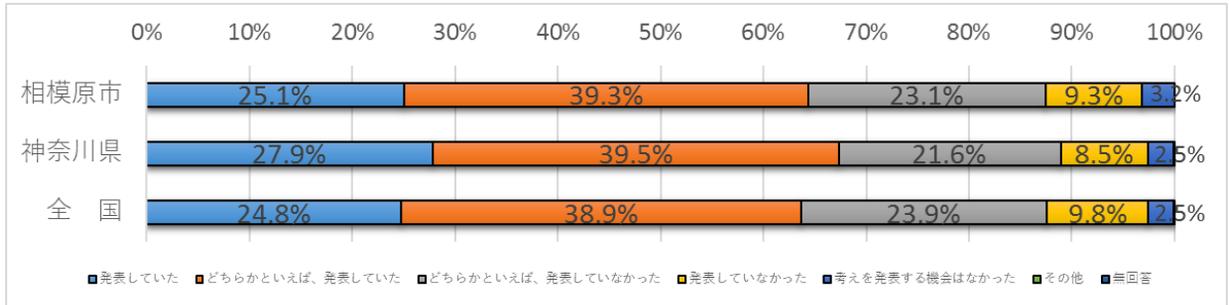
「主体的・対話的で深い学び」に関すること

① 工夫して発表すること

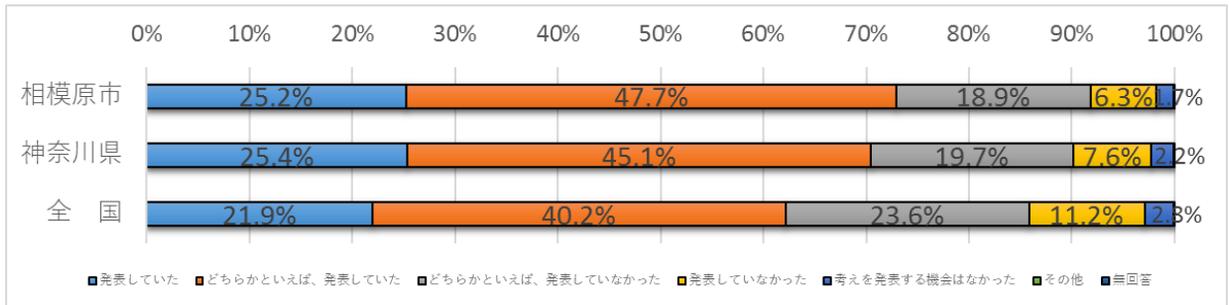
【質問】

授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 64.4% (全国との差: +0.7%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 72.9% (全国との差: +10.8%)



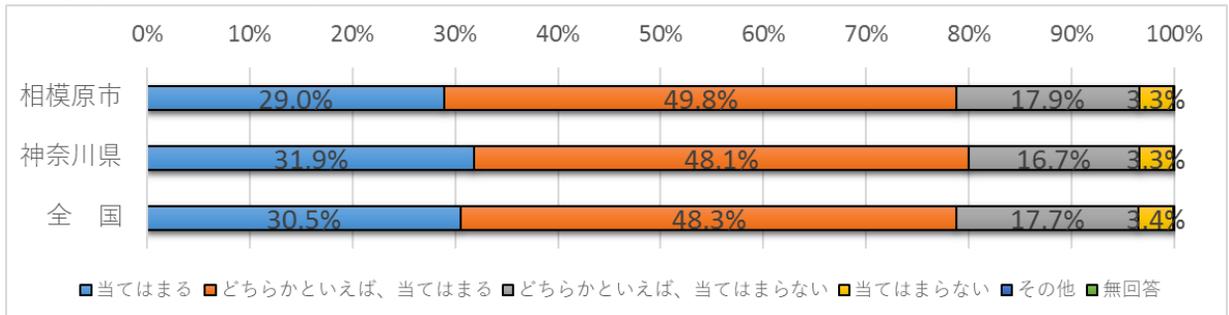
「主体的・対話的で深い学び」に関すること

② 主体的に課題解決すること

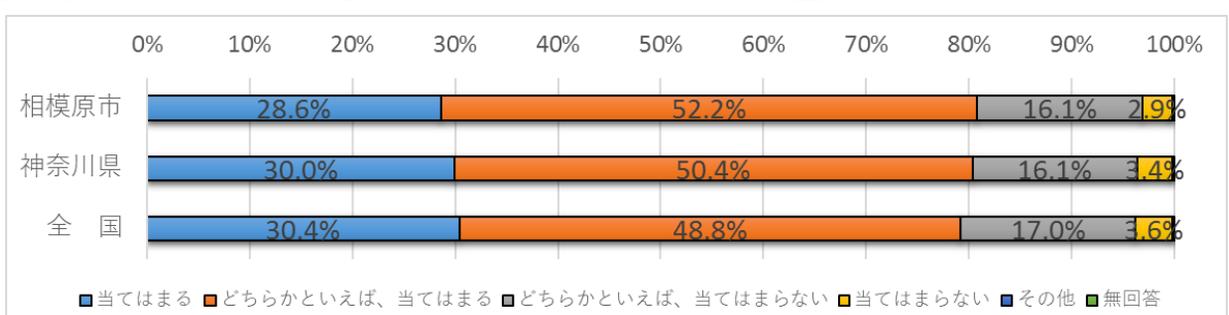
【質問】

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 78.8% (全国との差: ±0.0%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 80.8% (全国との差: +1.6%)



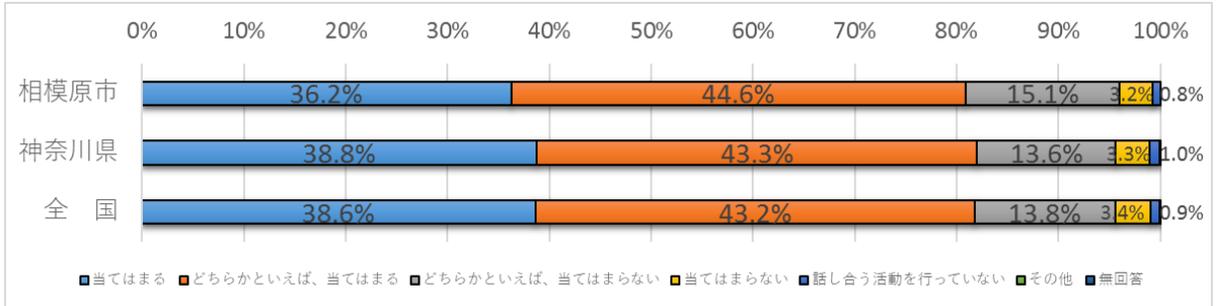
「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」に対し、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比較して10.8%高くなっています。

児童生徒質問紙に関する調査結果

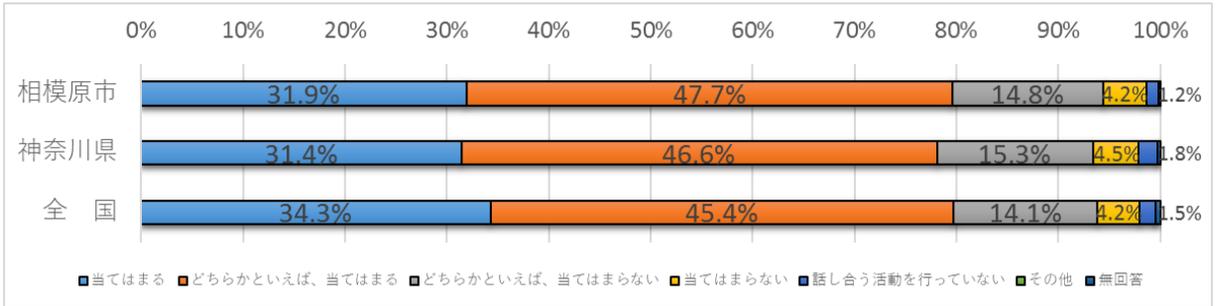
「主体的・対話的で深い学び」に関すること
③ 友達と考えを広げ深めること

【質問】
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 80.8% (全国との差: -1.0%)



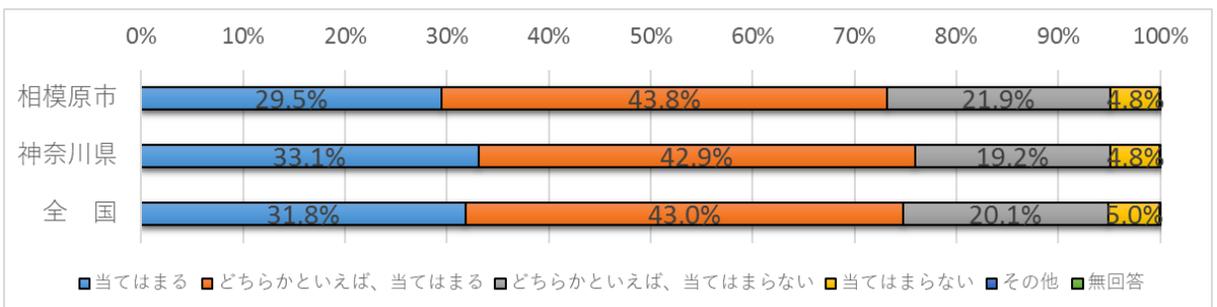
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 79.6% (全国との差: -0.1%)



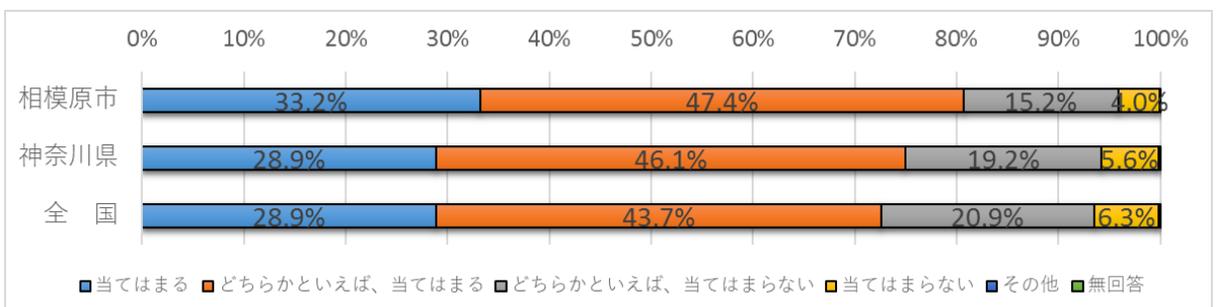
「主体的・対話的で深い学び」に関すること
④ 総合的な学習の時間

【質問】
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 73.3% (全国との差: -1.5%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 80.6% (全国との差: +8.0%)



「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」に肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比較して8.0%高くなっています。

児童生徒質問紙に関する調査結果

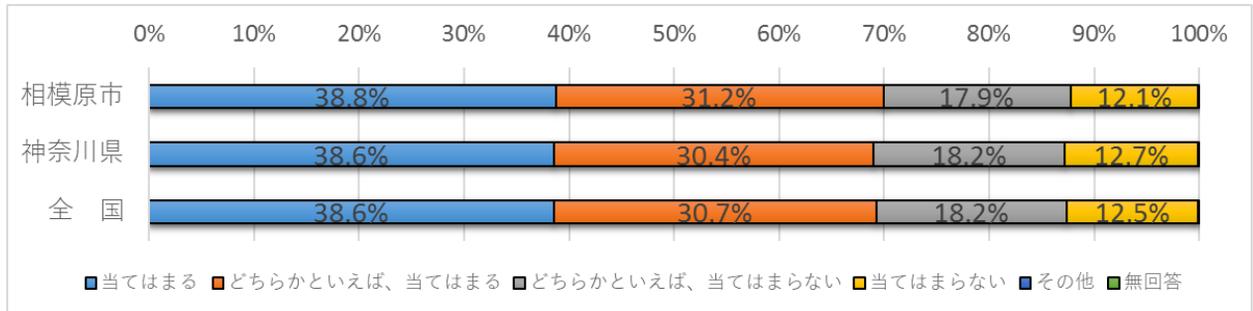
英語教育に関すること

① 英語は好きか

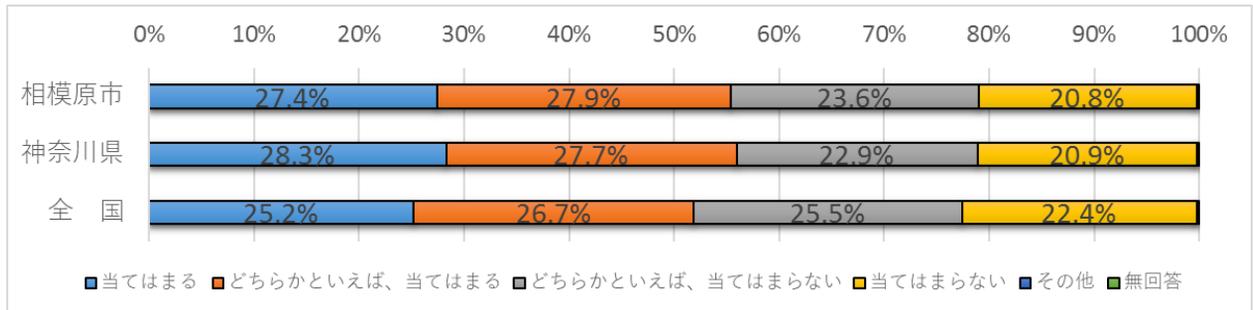
【質問】

英語の勉強は好きですか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 70.0% (全国との差: +0.7%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 55.3% (全国との差: +3.4%)



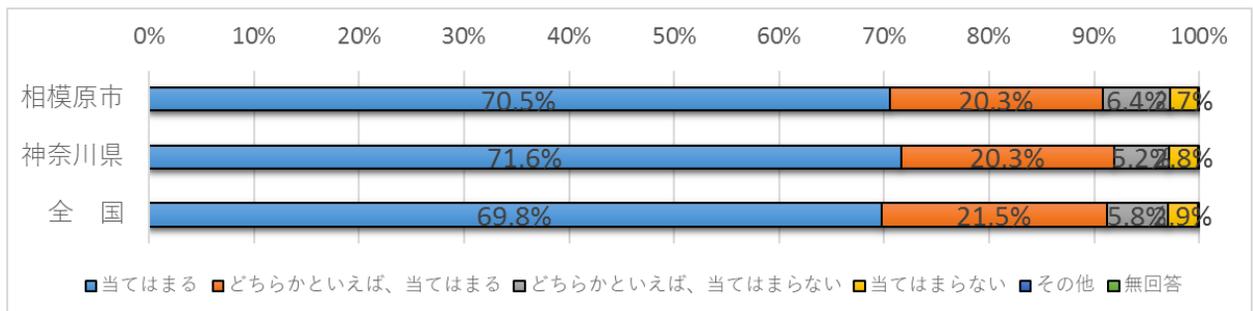
英語教育に関すること

② 英語の勉強は大切か

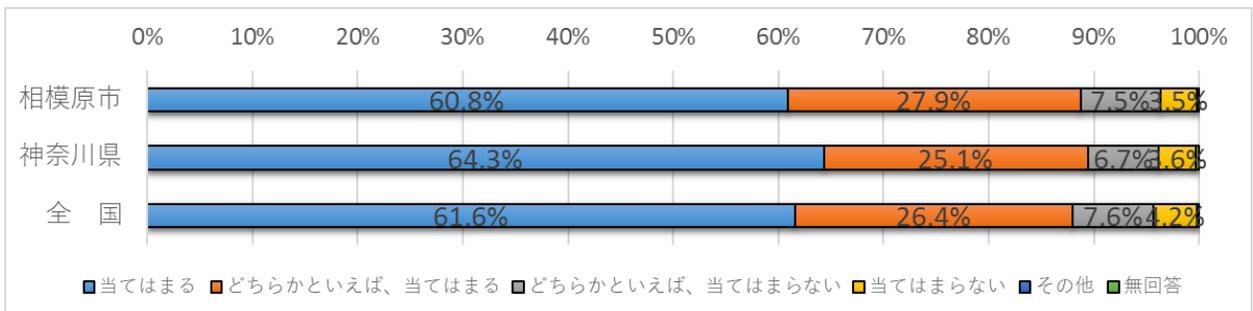
【質問】

英語の勉強は大切だと思いますか

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 90.8% (全国との差: -0.5%)



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 88.7% (全国との差: +0.7%)



「英語の勉強は好きですか」に肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国と比較して同程度か、やや高い傾向にあります。また、「英語の勉強は大切だと思いますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合は90%程度となっており、英語の大切さを感じている児童生徒が多いことがわかります。

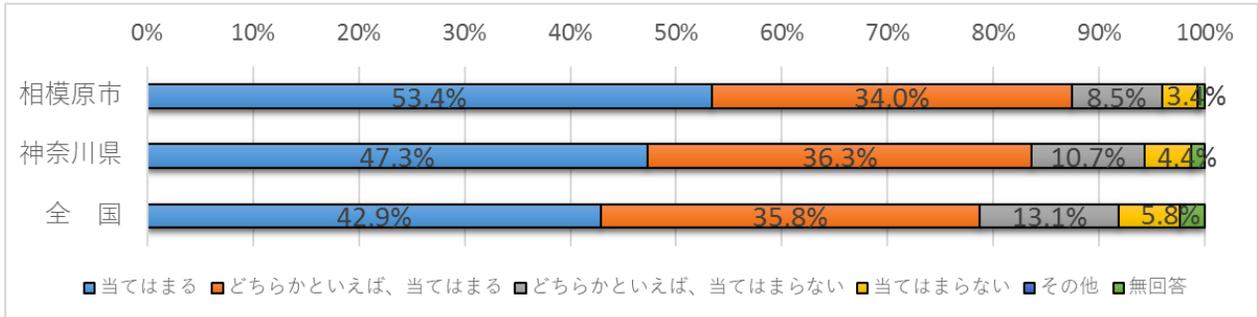
児童生徒質問紙に関する調査結果

英語教育に関すること ③ 英語による発表

【質問】

スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか

〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 87.4% (全国との差: +8.7%)

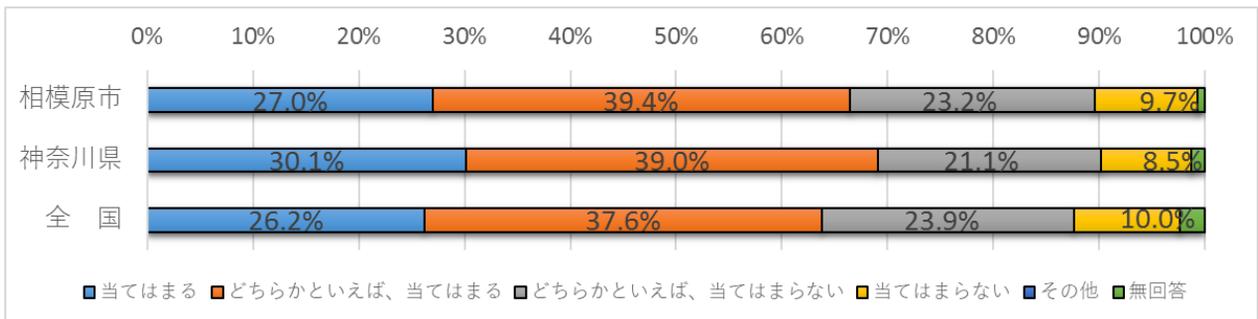


英語教育に関すること ④ 英語によるやりとり

【質問】

原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか

〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 66.4% (全国との差: +2.6%)

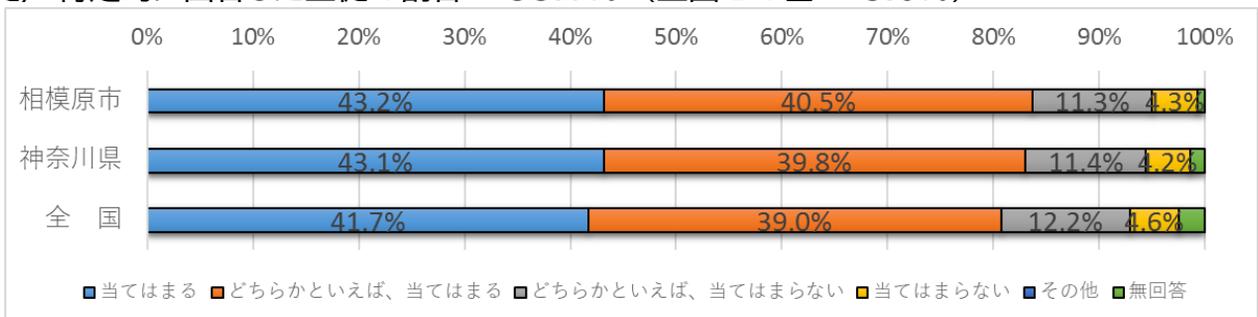


英語教育に関すること ⑤ 英語による意見交換

【質問】

聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか

〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 83.7% (全国との差: +3.0%)



上記3つの質問すべてにおいて、肯定的な回答をした生徒の割合は全国を上回りました。これまでを受けた授業の中に、英語でのコミュニケーション能力を高めるために、英語を用いて自分の思いや考えを表現する機会が多く設定されていたことがわかります。